

西大和つうしん

2011年 5月号

No.347



筆捨山稜線から見る錫杖ヶ岳(4/10)

奈良県勤労者山岳連盟

西大和山の会

西大和つうしん

第347号(2011年5月号)

【目次】

山行計画	-----	1
5月度・6月度カレンダー	-----	2
女性部山行《3月26日》鈴鹿山脈 藤原岳(勝尾)	-----	3
例会山行1《4月3日》台高山 馬ノ鞍峰(村田)	-----	4
自主山行《4月5日》生駒山系 平群福貴畑(内田)	-----	5
例会山行2《4月10日》三重の山 筆捨山～羽黒山(田中初)	-----	6
室内例会だより	-----	7・8

5 月 度 山 行 計 画

～日本海に浮かぶ花の島:大佐渡山脈を歩く

記念山行 5月5日(木)～7日(土)

佐渡の山《金北山～白雲台ルートおよび金剛山ルート》(L:島崎)

【コース】 5/5 ドンデン山荘(10:00)～金剛山(13:00)～白瀬登山口(16:00)

5/6 ドンデン山荘(9:00)～金北山(14:30)～白雲台(16:00)

5/7 佐渡観光

ハイカーの為の搬出救助講習会《竜王山》

例会山行 5月15日(日)

【集 合】 天理駅前 10:00 ※詳細は県連NEWSにて

～雪だけでなく、咲き誇るお花もいっぱい楽しみながら、スリルいっぱい
の奇岩の明王の禿から寒風峠をへて、マキノさらさまで戻ります。

5月22日(日) 例会山行2 湖北の山 《赤坂山》(L:内田)

【集 合】 JR王寺駅 6:51発・難波行き快速に乗車

【コース】 登山口(10:10)～武奈の木平(11:00)～栗柄越(12:00)～赤坂山
(12:10)～明王の禿(12:30/13:00)～赤坂山(13:20)～寒風峠(14:20)
～マキノ温泉(15:20)

【帰宅予定】マキノ駅15:50又は16:50の新快速乗車

(清掃登山)

クリーンハイク 5月29日(日) 金剛山地《金剛山》(L:田中悦)

【集 合】 上牧町役場P 7:40 又はJR御所駅 8:40

【コース】 郵便道

西大和山の会 カレンダー

5 月		6 月	
1 日		1 水	県連理事会
2 月		2 木	
3 火		3 金	
4 水		4 土	
5 木	記念山行 金剛山 ~ 金北山 ~ 白雲台 (島崎)	5 日	
6 金		6 月	
7 土		7 火	
8 日		8 水	
9 月		9 木	
10 火		10 金	
11 水	県連理事会	11 土	
12 木		12 日	例会山行1 笹ヶ岳 (田中初)
13 金		13 月	
14 土		14 火	平日山行 大台ヶ原 (村田)
15 日	ハイカーのための搬出訓練 竜王山	15 水	
16 月		16 木	
17 火		17 金	
18 水	原稿締切日	18 土	
19 木		19 日	例会山行2 観音峰 (多賀)
20 金		20 月	
21 土		21 火	
22 日	例会山行2 赤坂山 (内田)	22 水	原稿締切日
23 月		23 木	
24 火		24 金	
25 水	室内例会	25 土	
26 木		26 日	
27 金		27 月	
28 土		28 火	
29 日	例-ハイク 金剛山 (田中悦)	29 水	室内例会
30 月		30 木	
31 火			

女性部山行
鈴鹿の山 《藤原岳》

【日 程】 2011年3月26日(土)

【参加者】 L 勝尾・島崎・田中悦・田中初・辻・村田・藤井
藤本・内田・杉村

【コースタイム】 西藤原小学校前駐車場(9:00)―聖宝寺(9:20)―
(裏登山道)―八合目(11:16―20)―藤原山荘(12:08-15)―藤原岳頂
(12:32-37)―藤原山荘(昼食)(12:51-13:18)―八合目(13:45-48)
―<表登山道>―大貝戸登山口(14:55-15:07)―西藤原小学校前P(15:18)

今年はお水取りが終わっても寒い日が多く、当日は又真冬の寒さ、おまけに往路の車窓からは昨夜に降った(現に今も雪がちらついている)雪で山の木々も新雪を被っているのが見える。これはもう福寿草を見るのは無理と、諦めの境地で西藤原の駐車場に着いた。

聖宝寺横の長い階段を登り、寺の裏の登山道に行く。土砂崩れを補修中の谷筋から、山腹の杉や檜の植林帯の中の道を登る。

6合目手前から明るい自然林に変わり、又この辺りから積雪も多くなり、凍っていて滑りやすいのでアイゼンを装着する。

8合目から藤原山荘までは、例年なら木陰や岩陰に咲く福寿草に気を取られ、登りの辛さも忘れる所なのだが、今年はまだ冬山同然で時折小雪が舞い、アイゼンを付けた足取りが重い。

それでも、この寒さの中で咲いていました！。雪で凍りそうになった黄色の花びらで、はかなげに雪の中から顔を出していました。うっかり踏まれないように木の枝で注意を促す登山者のやさしい配慮も見受けられました。

山頂は風も強く、回りの鈴鹿の山々は鉛色の雲に覆われ視界が悪い。写真を撮ってすぐに下りる。山荘の中で昼食を取り(ただ一人Fさんは小屋が満員なので遠慮されたのか、寒い外で無心に食事されていました。)

その後、8合目まで同じ道を下り、そこから、大貝戸へと下山。靴の洗い場にて靴の泥を落とし、上牧への帰路に付きました。

(記:勝尾)

例会山行
台高の山《馬の鞍峰》(1177.8m)

【日 程】 2011年4月3日(日) 曇り・雪

【参加者】 L三島・田中悦・島崎・林・辻・勝尾・藤本・村田

【コースタイム】 上牧役場(6:30)～三之公林道終点登山口(8:33)～
明神滝分岐(9:03/9:29)(滝ピストン)～かくし平(10:03)～尾根道出合い
(11:40)～山頂(11:40/11:46)～昼食(11:57/12:29)～尾根道出合い
(12:55)～かくし平(13:35)～滝分岐(14:21)～登山口(14:53)

当初山ノ神が計画されていたが要許可と言うことで、登山口も同じ馬の鞍に変更。山之公までの里山はあちこちで花木が咲いておりおそい春到来を感じさせる。

登山口には3台の車、身支度整えコンクリートの階段から登り始める。

道幅も広く遊歩道とかで歩きやすい、半時間ほどで右下に明神の滝、滝つぼの前でしばし休憩。対岸は山の神への茸股谷。ずーと溪谷の音が心地よく右っかわの耳にひびき快調に歩をすすめる。

苔におおわれたかくし平、南北朝時代に高貴なお方を匿ったのだろうか。行宮の石碑を後に左から枯れたカクシ谷をわたりイリハシ谷右岸を登る。さっき芽を出した風のういういしいバイケイソウの緑が鮮やかに谷を埋め、原生林がうつくしい。段々踏み跡もさだかでなくなり赤いテープを頼りに馬の鞍西尾根への急坂をあえぎあえぎ登る。”持つとこがないんだよね”と聞いてた話は半分本当だった。

尾根道は降りはじめた4月の雪(韓流ドラマみたい)で真っ白、一面シロヤシオが咲いているようだった。いくつかのこぶをこえて山頂へ。展望は開けないが台高の奥深く抱かれているなあという実感がいい。少し下り、尾根をはずして昼食、気温2度。往路をそのまま取って返した。準備したアイゼンは使わずじまい。

吉野川の原流域になるという山域、カモシカに会い、朽ちた橋、崩れたはしごのメンテも過度でないほどほど感?がいい。

静かな佇まいの山だった。帰り道、”山の神は延期ということで、又来ましょう”とリーダー。是非に！

(村田 記)

自主山行
生駒山系 平群福貴畑から十三峠

【日 程】4月5日(火) 晴れ

【参加者】L 藤本・田中(悦)・田中(初)・辻・勝尾・内田

【コースタイム】近鉄平群駅(9:00)～星ノ尾墓地(9:33/40)～給水塔とその北側地区(9:48/10:11)～福貴畑集落とその南側地区(10:25/58)～集落センター:フラワーロード交差点(11:12)～杵築神社〔昼食〕(11:29/12:10)～十三峠(12:33/38)～福貴畑高峰集落(12:54)～集落外(13:19)～星ノ尾墓地(13:45/14:03)～白山神社(4:14)～平群町役場(14:30)

昨年につき、Fさんの案内で平群桃源郷を訪れました。今年はお花の開花が遅くははらしましたが、やっとその季節が来ました。ホームページのこの山行?のページも、輝かんばかり、まばゆいばかりのお花の写真が満載です。こんなに近くにこんなにすばらしい、お花の里があるとは、地元平群の人でも、知らない人が多いと聞きます。

アオモジの薄緑、ケイオウサクラの薄ピンク、サンシュユの優しい黄色、レンギョウの輝く黄色、大事な人にだけ伝えたい。そう思えるこの景色がいつまでも、見られますようにと祈らずにはいられません。

今年一番の私の収穫は、シデコブシの花を見られコブシとの違いがはっきりわかったこと、私は午後から所用で先に帰りましたが、かえりに、きじとコジユケイを見ました。ちょっとこい、ちょっとこいと啼くわりには逃げ足が速い。

このお花たちの写真を見ていたら思い出します。私が若い時から、常に心のよりどころとしているワーズワースの詩を・・・

花の栄光、草の輝き、その日再び帰らずとも、なげくことなかれ
その奥に秘めし、力をみいだすべし

平群のお花は来年も咲きます。また見に行きたいと思います。

(記:内田)

※(付記(藤本)) 昨年は3月22日に訪れてほとんどの花が満開だった福貴畑。今年は3月の低温のため、開花が2週間以上遅れ、4月5日になってもまだ紫木蓮などは開花前でした。HPの山行報告で去年と今年の画像を比べると、今年の方がちょっぴり寂しい。でもその分長く花を楽しめたとも言えます。

当初、十三峠から北へ向かい櫛原トンネル南口へ抜けるコースを予定していましたが、福貴畑の花を堪能したあまり、花のない下りのコースは割愛し、再び福貴畑を通して(一部往路とは別コースで)下山しました。

例会山行2

筆捨山～羽黒山

【日 程】 2011年4月10日(日) 晴れ

【参加者】 L 田中初・SL 田中悦・藤井・多賀・三島・島崎
村田・林・辻・内田

【コースタイム】 上牧駐車場(8:00)～公園P(9:13)～観音岳(9:39)～
展望台(10:12)～羽黒山分岐(10:39)10～筆捨山(11:05)～
羽黒山分岐(11:28)～鉄塔(11:40/12:16)～胎内くぐり
(12:43)～巨岩(13:00)～羽黒山(13:32)～展望台(13:45)～
羽黒神社鳥居(14:50)～関富士(14:37)～公園P(15:15)

関インターを出て一号線まで来ると巨岩が点在する山が見えあれが羽黒山と聞く。関ロッジまで来ると桜祭りが開催される為駐車場はもう沢山の車が止まっていた。桜も満開で 椿 木蓮 少女袴 ミツバツツジなどの花が咲き誇っている。

ロッジ手前の登山口から石仏を見ながらあっという間に観音山に着いた。そこから林道まで下り筆捨山の登山道を登ると展望台があり360度見渡せた。それから緩やかな尾根歩き、羽黒山分岐から下り急な長い階段を登ると木々に囲まれた筆捨山に着く。

この山が東海道五十三次に描かれた山とは思えないくらい普通の山頂だった。羽黒山分岐から尾根道を行くと大岩が現れ左側の巻き道を行くと鉄塔に出る。

そこから先は道が不明瞭なのでここで昼食を取り、先ほどの大岩まで戻り右側の道を行くと又大岩が胎内くぐりで皆無事にくぐり抜けることが出来た。羽黒山手前で左側に見える巨岩の所に行くと言うので体力の無い私は一人待つ事にした30分ぐらいで違う方向から戻ってきた。ちょっと迷ったみたいです 羽黒山頂上からは明星ヶ岳や三子山などが一望できた。

そして頂上から下った所で数人のハイカーと会う。その先が展望台とのことで行くとそこからは亀山の市街が見渡せるいい所だった。

羽黒神社鳥居から林道を関富士登山口へと歩き下山してからの急な登りはきつかったが10分ぐらいで頂上に着いた。

F さんから聞いていたとおり低山でありながら変化に富んだ山でお天気にも恵まれ美しい花に癒され満喫した山行ができました。

(記：田中初)

室内例会だより

【日 時】 2011年3月27日(日)15:00～17:30 事務所

【出席者】 島崎、三島、多賀、辻、林、村田、藤本、勝尾、内田
内藤、藤井 (11名)

1、山行報告

- 2月20日(日) 公開山行 三峰山 L林 12名 (一般9名)
- 2月27日(日) 例会山行 霊仙山 L藤井 9名
- 3月5日(土) 自主山行 論鶴羽山 L辻 4名
- 3月13日(日) 例会山行 伊吹山 L辻 5名
- 3月20日(日) 例会山行 七洞山 L島崎 8名

2、山行案内

- 4月3日(日) 例会山行の行先変更
台高山ノ神→馬ノ鞍峰 L三島 (入山禁止のため)
- 4月10日(日) 例会山行 筆捨山～羽黒山 L田中初
- 4月24日(日) 30周年記念登山バス 舟伏山 L田中悦

3、連絡その他

- ・ 県連常任理事の選出
現状では会として、会員数も少なく常任理事を出すことは困難である。
県連行事に積極的に参加することでサポートしたい。
- ・ 個人会員制度について
5,6月に運営委員会を開き意見を出し合う。
- ・ 来期のハイキングリーダー学校を受講のお勧め
受講者 勝尾さん、藤本さん (予定)
- ・ 県連搬出訓練、搜索訓練は救助隊が人数の取りまとめをする。
- ・ 東日本大震災の義援金募金をしました。
- ・ 障害者自立支援法の廃止の署名をしました。

- ・ 会員獲得のための案を出す。
初級登山教室
会のHPを充実させる。
山行案内の詳細を会員外でも閲覧できるようにする。
- ・ HPに「西大和つうしん」の掲載は室内例会終了後にする。
室内例会だよりは早く掲載する。
みんなの広場の活用。皆さんの投稿をお待ちしています。
- ・ 会員名簿、年間計画表、山行リーダー表を配布する。
- ・ 芦田きよみさん、平田稔さん、塚本英治さんが退会されました。
- ・ 例会終了後、王寺黒天で打ち上げをしました。11名参加

第 3 0 回定期総会報告

3月27日(日) 13:00～15:00・事務所
会員数18名(名誉会員を除く)の内、出席16名
(委任状5名を含む)で三分の二以上あり成立しました。

議長 林弘文さん

第29期活動報告、決算報告、第30期活動方針案、
予算案すべて承認されました。